

患者からの病歴聴取

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、病歴を聴取し、患者背景を理解することで使用予定薬剤との禁忌事項を事前に回避できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

Hさん

患者背景

▶ 右乳がんに対して手術予定の患者。

【術前薬】ゾルピデム酒石塩酸塩錠（5 mg）	1回1錠	1日1回眠前	1日分
センノシド錠	1回2錠	1日1回眠前	1日分



Hさんこんにちは。
明後日の手術に向けて服用していただくお薬について説明に来ました。



薬剤師

こんにちは。よろしくお願いします。



手術の前日に寝つきをよくするゾルピデムと腸を動かす下剤のセンノシドをのんでいただくようになります。今までに緑内障の治療をされたことはありませんか。



1年ほど前に少しだけ緑内障の治療で眼科に通いました。でも、特に症状もないし、面倒くさくなってもうやめました。

そうでしたか。
先程説明したゾルピデムは、特定の緑内障の方に使えないおくすりです。Hさんが該当されるかわかりませんので、念のため、他のおくすりに変えてもらえるよう主治医に相談してみますね。



そういうこともあるんですね。
よろしくお願いします。

ゾルピデムは急性狭隅角緑内障に対し禁忌であるため、主治医に情報提供を行った。代替薬としてベルソムラ®を提案し、提案どおりに変更された。病歴及び薬歴を確認することで安全な薬物療法に貢献できた。